

今年もフクロウのヒナが孵(かえ)りました！ ～フクロウのヒナが処分場敷地内の巣箱で成長中～

東京たま広域資源循環組合（管理者：立川市長清水庄平）では、3月30日、フクロウが谷戸沢処分場に営巣したことをお伝えしましたが、5月2日に1羽、5月4日にもう1羽のヒナが無事に孵(かえ)りましたので、お知らせします。

フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。



巣箱内のメスのフクロウ（写真下）と真っ白なヒナ（写真右）の様子【5月2日撮影】

現在、フクロウは巣箱の中で子育てを行っております。6月上旬ごろには、ヒナの巣立つ姿を見ることができると思われます。今後は、フクロウの子育て状況を温かく見守ってまいります。この子育て状況については、ヒナの巣立ちまで、逐次、循環組合のホームページに写真を掲載していきます。（ただし、アライグマなどに襲われ、営巣を放棄する可能性もあります。）

◆ 循環組合ホームページ：<http://www.tama-junkankumiai.com/>



巣箱内でのフクロウの様子



2羽のヒナ（写真中央右）【5月4日撮影】
（左のヒナは写真上向きにうつ伏せ、右のヒナは写真下向きにうつ伏せの状態。）



外を眺めるメスのフクロウと2羽のヒナ【5月5日撮影】
（巣箱内左上の黒い塊は、エサのムクドリ。右下は、エサのモグラとネズミ。）